

洗いやすい	洗いやすい	洗いやすい	洗いやすい
保温保冷卓上ポット	保温保冷卓上ポット	保温保冷卓上ポット	保温保冷卓上ポット
グレーベージュ/0.8 L	グレーベージュ/1.3 L	黒/0.8 L	黒/1.3 L
4550584334535	4550584334542	4550584334559	4550584334566

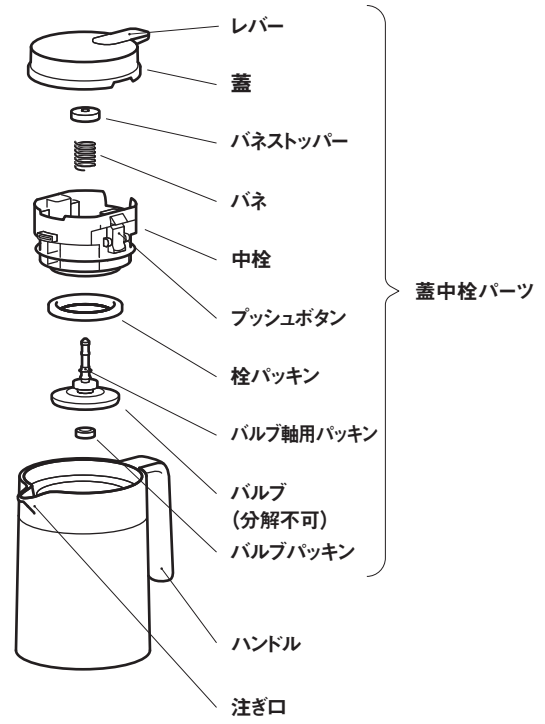
取扱説明書 MUJI 無印良品

ver.2024.9 広口で洗いやすい 保温保冷 卓上ポット

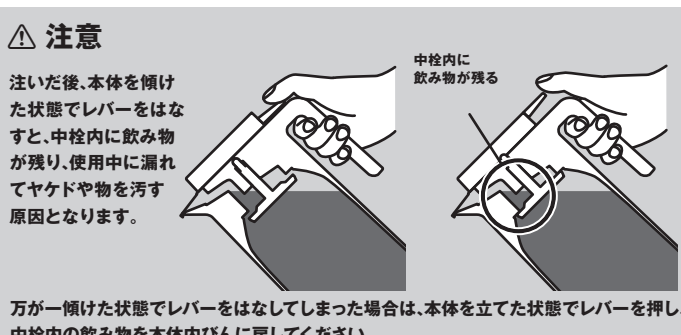
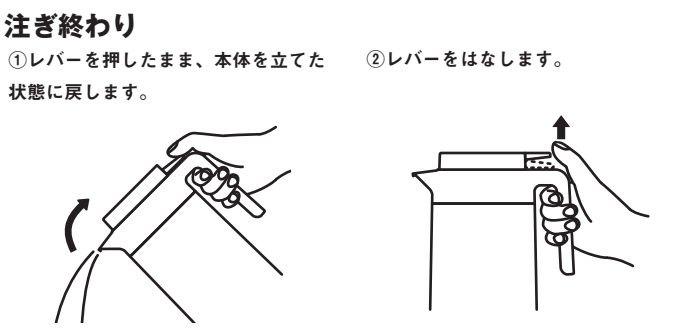
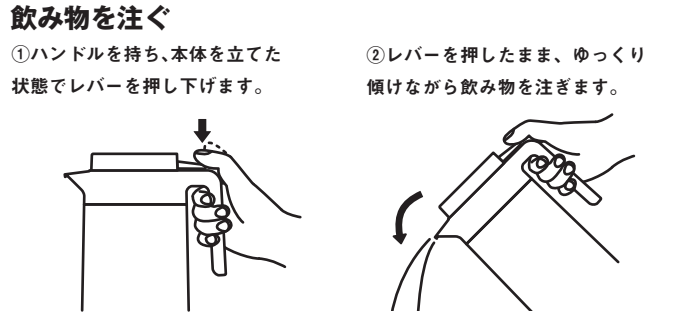
品質表示		
品名	ステンレス製卓上用魔法瓶	
材料の種類	本体	内びん: ステンレス鋼 (18-8) 胴部: ステンレス鋼 (18-8) (表面塗装の種類: ポリエステル樹脂塗装) ハンドル、注ぎ口: ポリプロピレン
	蓋	
	中栓	ポリプロピレン
	プッシュボタン	
	パネストップバー	
	パネ	ステンレス鋼 (18-8)
	バルブ	ポリプロピレン、ステンレス鋼 (18-8)、シリコーンゴム
	栓パッキン	
	バルブパッキン	シリコーンゴム
	実容量	0.8 L
保温効力	59℃以上 (10時間) 68℃以上 (10時間)	
保冷効力	11℃以下 (10時間) 10℃以下 (10時間)	

※保温効力とは室温 20℃±2℃において製品に熱湯を中栓（蓋）の下端まで入れ、湯温が 95℃±1℃になったとき、中栓（蓋）をして縦置きにした状態で 10 時間放置した場合におけるその水の温度です。
 ※保冷効力とは室温 20℃±2℃において製品に冷水を中栓（蓋）の下端まで入れ、水温が 4℃±1℃になったとき、中栓（蓋）をして縦置きにした状態で 10 時間放置した場合におけるその水の温度です。

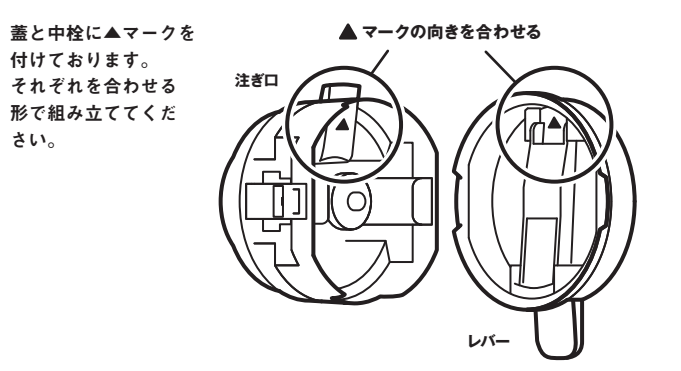
各部の名称



注ぎ方



蓋中栓パーツの組み立てについて



取扱い上の注意

表示マークの意味について
 ●製品を正しくご使用いただくために、誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

⚠ 注意	軽傷、または物的損害を負うおそれがある内容を示しています。
🚫 禁止	してはいけない内容(禁止)を表しています。
📌 必ずおこなう	必ずお守りいただく内容を表しています。

図記号について

⓪ 熱い飲み物を入れて本体外側が熱くなったり、冷たい飲み物を入れて結露する場合は使用しないでください。構造に不具合のある可能性があります。

- ① お子様だけで使用させないでください。ヤケドやケガをするおそれがあります。
- ② 乳幼児やベットの手の届かないところで使用・保管してください。ヤケドやケガをするおそれがあります。
- ③ ストープやコンロなど火気のそばに近づけないでください。変色、変形の原因となります。
- ④ 直射日光下や、屋外では使用しないでください。変色、変形の原因となります。
- ⑤ 落下や転倒等の強い衝撃や振動、無理な力は加えないでください。保温・保冷効果が低下する等、故障や製品が破損するおそれがあります。
- ⑥ 飲み物は中栓（蓋）下端より少なめにしてください。入れすぎると内圧で内容物が噴き出し、ヤケドやケガをするおそれがあります。
- ⑦ お湯を入れた直後は、数十秒おいてから中栓（蓋）をしてください。レバーを押した際、内圧で内容物が噴き出し、ヤケドやケガをするおそれがあります。
- ⑧ ハンドルを持ち、レバーを押し、少しずつ傾けながら注いでください。傾け始めてからレバーを押すと、内容物が漏れてヤケドや物を汚す原因となります。
- ⑨ 万一が傾けた状態でレバーをはなしてしまった場合は、本体を立てた状態でレバーを押し、中栓内の飲み物を本体内びんに戻してください。
- ⑩ コップ等に注ぎ終わったら、平らな安定した場所に置いてください。不安定な状態で置くと、内容物が漏れて、ヤケドや物を汚す原因となります。

注意

- ⓪ 車中や屋外など、傾いたり転倒したりする可能性のある場所では絶対に使用しないでください。内容物が漏れて、ヤケドや物を汚す原因となります。
- ⓪ 本体を転倒させたり、ゆすったりしないでください。また、持ち運ぶ際はハンドルを持ってください。内容物が漏れ、ヤケドや物を汚す原因となります。
- ⓪ 熱いやかんなどを製品にあてないでください。本体が転倒し、ヤケドやケガの危険があります。また、キズや変形の原因となります。
- ① 中栓（蓋）を確実に閉めてご使用ください。閉め方が不十分だと、内容物が漏れ、ヤケドや物を汚す原因となります。
- ⓪ 火にかける、電子レンジを使用するなど絶対にしないでください。火災や、ヤケドの原因となり大変危険です。
- ⓪ 絶対に修理・改造は行わないでください。故障や事故の原因となります。
- ⓪ 内容物を入れた状態で長時間放置しないでください。腐敗や変質の原因となります。
- ① お茶等はお早めにお飲みください。長時間保存するとお茶の色や味が変わります。
- ① お茶・コーヒーを入れた後は、必ずお手入れをしてください。内容物が出なくなる原因となります。
- ⓪ 次の物は絶対に入れないでください。
 - ドライアイスや炭酸飲料など：内圧が上がり、内容物が噴き出るおそれがあります。
 - 牛乳・乳製品・果汁など。
 - 味噌汁・スープなどの塩分を含んだもの：サビが発生するおそれがあります。
 - 果肉・お茶の葉など：つまる、漏れる等の原因となります。
- ① 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。キズや漏れの原因となります。
- ⓪ 缶飲料等を容器ごと入れないでください。本体が変形し、故障の原因となります。
- ⓪ アルコール類は入れないでください。

部品交換

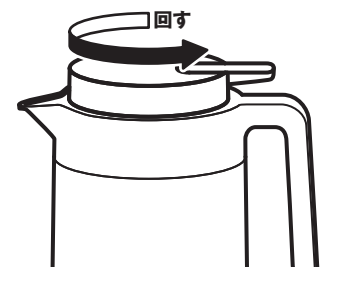
- パッキンは消耗品です。1年を目安にキズ、損傷等がないかを確認し、不具合がある場合は使用を中止し、部品交換を行ってください。

ご使用方法

- ① ご使用前に、蓋・本体（胴部・内びん）を十分に洗浄してください。詳細は「お手入れ方法」をご確認ください。

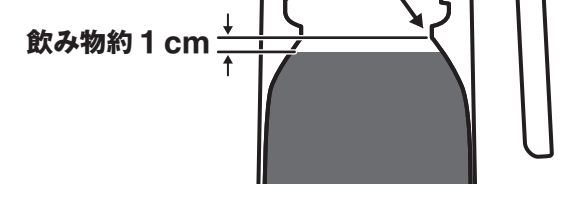
飲み物の入れ方

- ① 蓋を外す
蓋を矢印の方向（反時計回り）に回して外します。



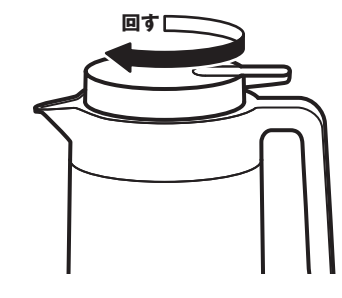
飲み物を入れる

- 飲み物の量は図の位置までにしてください。入れすぎると、蓋を閉めたときに飲み物が溢れ出す原因となります。



蓋を閉める

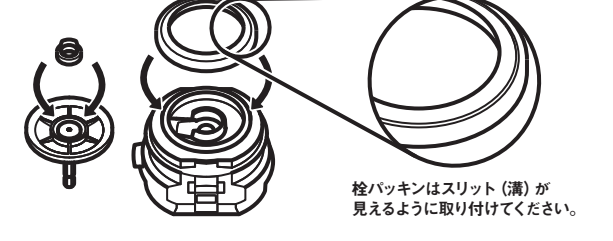
- 蓋を矢印の方向（時計回り）に回し、レバーとハンドルが揃う位置まで確実に閉めます。



パッキンの取り付け方

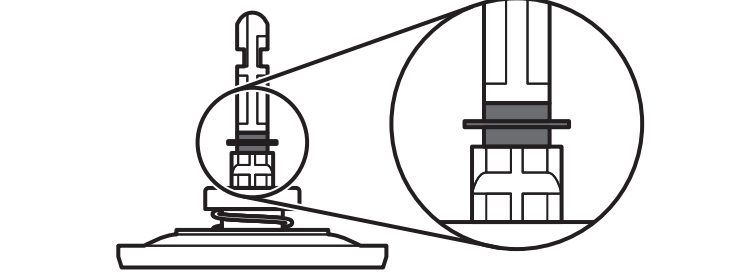
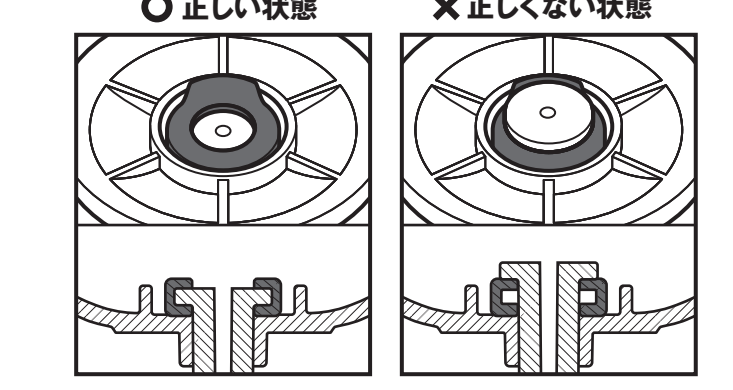
正しく取り付けられていないと、漏れの原因となります。お手入れ等で、栓パッキン・バルブパッキンを取り外した後は、正しく取り付けてください。

バルブパッキン、栓パッキンには上下裏表があります。取り付け時にはご注意ください。



⚠ 注意：パッキンの紛失や損壊には十分ご注意ください。
 ⚠ 注意：パッキン位置、形状が異なる場合がございます。現物をご確認をお願いいたします。

バルブパッキンの取り付け方



問い合わせ先

株式会社良品計画 www.muji.com
 お客様相談室でんわ 0120-14-6404

お手入れ方法

- ① ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。お手入れする際は、柔らかいスポンジで行ってください。

本体（外側・内側）	中栓（蓋）
食器用中性洗剤を薄めたぬるま湯と柔らかいスポンジで洗浄後、洗剤が残らないようにきれいな水でよくすすぎ、十分に乾かしてください。	パッキンを取り外し、食器用中性洗剤を薄めたぬるま湯と柔らかいスポンジで洗浄後、洗剤が残らないようにきれいな水でよくすすぎ、十分に乾かしてください。

パッキンを中栓 / バルブから取り外し、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。
 ※汚れ等が付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしていると、ニオイが発生する場合があります。その際はしっかりとお手入れしてください。
 ※ニオイが気になる場合は、お湯で薄めた食器用中性洗剤を、柄のついたスポンジ等に含ませて何度か洗浄し、十分に乾かしてください。

ポット内びんにサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合	サビのような赤い斑点ができた場合	ザラザラしたものが付着した場合
水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を 10% 程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30 分ほど放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシ等で内びんの内壁をよく洗浄してください。食酢が残らないよう、きれいな水でよくすすいでください。	水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を 10% 程度入れたぬるま湯を本体に入れて、中栓（蓋）を取り付けず、3 時間程放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシ等で内びんの内壁をよく洗浄してください。クエン酸が残らないよう、きれいな水でよくすすいでください。	水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を 10% 程度入れたぬるま湯を本体に入れて、中栓（蓋）を取り付けず、3 時間程放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシ等で内びんの内壁をよく洗浄してください。クエン酸が残らないよう、きれいな水でよくすすいでください。

お手入れ上の注意

- ① ご使用後は、必ずきれいに洗浄してください。お手入れが不十分だと、ニオイ、汚れ、パッキンの変色の原因となります。
- ① 本体を洗浄後は、すぐに水分を拭き取ってください。水滴の跡が残ったり、サビや物を汚す原因となります。
- ⓪ シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾等は使用しないでください。キズやサビ、破損の原因となります。
- ⓪ 本体や中栓（蓋）の煮沸、及び食器洗い乾燥機は使用しないでください。変形や漏れの原因となります。
- ⓪ 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- ⓪ 本体・中栓（蓋）の漬け置き洗いはしないでください。サビ、破損の原因となります。
- ⓪ 中栓（蓋）を本体に取り付けたまにお手入れしないでください。お手入れの際は、それぞれ取り外した状態で行ってください。
- ① 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし、完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。